

## 細胞診専門医資格更新について（計算例）

### 計算例 1

名称	クレジット	合計
1. 診療実績		
〇〇病院 2019年～2023年	2単位/年×5年=10単位	①10単位
2. 専門医共通講習 最低5単位 最大10単位（内3単位は必須講習）		
2019年春期大会専門医会	1単位	②6単位
2020年秋期大会専門医セミナー	1単位	
2021年春期大会専門医会	1単位	
2022年秋医療安全セミナー※必修講習	1単位	
2022年秋医療倫理セミナー※必修講習	1単位	
2022年秋感染対策セミナー※必修講習	1単位	
3. 診療領域別講習 最低20単位、最大45単位		
地域連携組織所属 2019年～2023年	3単位/年×5年=15単位	③34単位
2019年春期大会	3単位	
2020年秋期大会	3単位	
2021年春期大会	3単位	
2022年秋期大会	3単位	
2023年春期大会	3単位	
2019年地域連携組織学術集会	2単位	
2020年地域連携組織学術集会	2単位	
① + ② + ③ = 50単位		

### 計算例 2 2019年1月1日から2019年12月31日まで産休・育児休暇を取得（1年）

名称	クレジット	合計
1. 診療実績		
〇〇病院 2020年1月～2023年末	2単位/年×4年=8単位	①8単位
2. 専門医共通講習 最低5単位 最大10単位（内3単位は必須講習）		
2020年春期大会専門医会	1単位	②5単位
2021年秋期大会専門医セミナー	1単位	
2022年春医療安全セミナー※必修講習	1単位	
2022年春医療倫理セミナー※必修講習	1単位	
2022年春感染対策セミナー※必修講習	1単位	
3. 診療領域別講習 最低20単位、最大45単位		
地域連携組織所属 2018年～2022年	3単位/年×5年=15単位	③28単位
2020年春期大会	3単位	
2021年秋期大会	3単位	
2022年春期大会	3単位	
2020年地域連携組織学術集会	2単位	
2021年地域連携組織学術集会	2単位	
① + ② + ③ = 41単位		

上記事例の場合は1年の緩和措置を受けておりますので、40単位で更新が可能です

更新書類をご提出いただく際に、上記を証明するもの（産休・育児証明書（休暇期間記載）や母子手帳の出産日が記載されている部分のコピー）をご提出ください。

留学をされていた場合、留学の期間を証明するもの（パスポートのコピーや勤務先などの証明書）を更新書類と一緒にご提出ください。計算例2同様、緩和措置の対象となります。

2. 専門医共通講習と3. 診療領域別講習の取得単位数が最低単位数に満たない場合は、更新審査会にて審議されます。